

原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2021 月 9 月」

2021年

- 9 月 1 日 原子力規制庁は、原発のテロ対策などを監視する核セキュリティー部門が他部門から借りた機密文書を紛失した問題で、閲覧権限のない職員が文書を借りていた上、紛失に気付いた後も約 2 年間、幹部に報告していなかったと発表した。
- 9 月 1 日 原子力規制委員会が、規制委から借り受けた原発のテロ対策施設に関する機密文書を中国電力が無断で廃棄し、約 6 年間報告していなかった問題について、機密文書として分類して管理していなかったために誤廃棄したとする中国電の説明を妥当とした。今後の再発防止策も了承した。
- 9 月 2 日 午前 4 時 17 分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.8 と推定。福島県相馬市、田村市、大熊町、浪江町で震度 3。
- 9 月 2 日 福島第一原発の汚染処理水を海洋放出する政府決定を巡り、宮城県議会農林水産常任委員会が、村井嘉浩知事に対し、海洋放出への反対を明確に表明するよう口頭で申し入れた。
- 9 月 3 日 日本時間午前 5 時 26 分ごろ、北クリル諸島(千島列島北部)沖でマグニチュード 5.5 の地震が発生した。
- 9 月 3 日 日本時間 19 時 14 分ごろ、ロシアのサハリン州でマグニチュード 5.8 の地震が発生した。
- 9 月 3 日 脇山伸太郎佐賀県玄海町町長が、使用済み核燃料を金属容器に入れて保管する「乾式貯蔵施設」を玄海原発に設置することを事前了解すると九電に伝えた。原子力規制委員会は 2021 年 4 月に設置を許可しており、25 年 7 月に着工し、27 年度にも運用を始める予定。
- 9 月 3 日 福島第一原発から出る汚染処理水の海洋放出をめぐり、経済産業省が宮城県幹部と「風評被害対策」について意見交換した。宮城県の佐藤靖水産林政部長は、「漁業者は海洋放出が既成事実化することに大きな懸念を抱いている」と指摘。その上で「新たな手法が出れば採り入れることを行動計画に盛り込んでほしい」と求めた。
- 9 月 5 日 福島第一原発事故後、国が福島県内の学校などに設置した放射線量を測定する「モニタリングポスト」について、原子力規制委員会が住民の不安

解消につながるとして当面態勢を維持し、今年度から 10 年程度かけて部品交換などを行う計画。

- 9 月 6 日 日本時間午前 5 時 51 分ごろ、太平洋のトンガ王国沖でマグニチュード 5.9 の地震が発生した。
- 9 月 6 日 23 時 59 分ごろ、紀伊水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 3.0 と推定。和歌山県湯浅町、広川町で震度 3。
- 9 月 6 日 午前 11 時ごろ、柏崎刈羽原発 3 号機タービン建屋の地下 3 階にある機器の弁などを動かす圧縮空気を除湿するために設置している電気ヒーターからで煙が発生した。消防の調べで、電源ケーブルに焼けたあとが確認されている。
- 9 月 7 日 福島第一原発の汚染処理水の海洋放出をめぐり、IAEA と経済産業省が、安全性の評価について協議をした。
- 9 月 7 日 柏崎刈羽原発の核セキュリティの不備など一連の問題をめぐり、原子力規制委員会による追加現地調査が行われた。
- 9 月 7 日 14 時 07 分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.0 と推定。石川県珠洲市で震度 3。
- 9 月 7 日 原子力防災会議を首相官邸で開き、島根原発周辺地域の住民の避難計画について了承した。避難計画は、事故が起きた際に屋内退避などが必要になる島根原発から半径 30 キロ圏内の住民およそ 45 万 7 千人が対象となる。
- 9 月 7 日 午後 5 時ごろ、停止中の浜岡原発 3 号機の原子炉建屋で、点検のため除染作業に使われた水を抜いたところ、放射性物質を含む水 4 リットルが漏れた。
- 9 月 8 日 使用済み核燃料を再処理して作られた MOX 燃料を載せた船がフランス北西部のシェルブールから日本に向けて出港した。日本は国内の原発で出た使用済み核燃料の再処理をフランスに委託していて、加工してできた MOX 燃料を日本へ運び、一部の原発で使用している。MOX 燃料の輸送は 2017 年以来 4 年ぶり、約 10 週間かけて福井県にある関西電力の高浜原発へと運ばれる。
- 9 月 8 日 日本時間午前 10 時 47 分ごろ、メキシコの太平洋岸にあるゲレーロ州南西部アカプルコ市付近で、マグニチュード 6.9 の地震が発生した。
- 9 月 9 日 東京電力が、福島第一原発の汚染水を浄化処理する多核種除去設備 (ALPS) の排気フィルターに破損が見つかった問題で、全 25 力所のうち 24 力所で破損を確認したと発表した。2 年前も同様の破損があり 25 力所で交換していたが、原因を調べないまま運転を続け、公表もしていなかった。

- 9月9日 経済産業省が、福島第一原発の汚染処理水を海に放出することについて、IAEA・国際原子力機関の専門家評価団が12月をメドに来日し本格的に安全性の調査を開始することで合意したと発表した。
- 9月10日 伊方原発で宿直勤務者が無断外出し、重大事故の緊急対応要員が一時不足した保安規定違反について、四国電力が、再発防止策などをまとめた報告書を県と伊方町に提出した。
- 9月10日 原子力規制庁のチームが、福島第一原発事故について現地調査を行い、2号機で非常に高い放射線量を計測した場所の映像を公開した。格納容器真上にある、直径およそ12mのコンクリート製のふたの部分を調査する際の映像。コンクリートのふたの一部に深さおよそ5センチの穴をあけ、その中の放射線量を計測したところ、分厚いコンクリートによって放射線が遮蔽されているにもかかわらず、毎時1100ミリシーベルトの高線量であることがわかった。一般の人が許容されている1年間の被ばく線量の1000倍以上の数値。
- 9月11日 韓国の原子力安全委員会が、ウォルソン原発の第1次調査結果と計画を公開した。調査結果、使用済核燃料プール構造体周辺の土壌や水のサンプル(深度9メートル)で放射性核種が検出された。土壌サンプルでは、ガンマ核種が1グラムあたり最大0.3ベクレル検出された。
- 9月11日 中国が、南東部の四川省広元市で放射性廃棄物をガラス固化して廃棄する施設を稼働させた。
- 9月12日 午前11時17分ごろ、豊後水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。愛媛県愛南町で震度3。
- 9月13日 午前0時16分ごろ、有明海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。熊本県嘉島町で震度3。
- 9月13日 日本時間14時18分ごろ、アルゼンチンでマグニチュード5.8の地震が発生した。
- 9月13日 東京電力が、福島第一原発の汚染水を処理するALPSで、排気中の放射性物質を吸着するフィルターが25カ所中24カ所で破損していた。2年前の点検でも25カ所すべてで破損が見つかったが、当時、公表せずに部品を交換し、再発防止策も講じていなかった。原子力規制委員会が「東電の管理姿勢は極めて問題が大きい」と厳しく批判した。
- 9月14日 午前7時46分ごろ、東海道南方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.2と推定。茨城県笠間市、取手市、栃木県鹿沼市、高根沢町、東京都千代田区で震度3。

- 9月15日 原子力規制委員会が、再稼働をめざす島根原発2号機について、安全対策の基本方針が新規規制基準に適合すると認める審査書を正式決定した。地元の同意を得たうえで、再稼働となる手続となる。
- 9月16日 午前5時18分に、福島第一原発の地下水くみ上げ浄化装置(放射性物質の濃度を下げる装置)が約15時間停止した。地下水の流出はなく、周辺の放射線量に異常はなかった。配管にあるバルブの開閉に関わるセンサーの故障が原因という。午前5時40分ごろ、装置が停止しているのに気づいた。同18分に自動停止していたが、作動するはずの警報が鳴らなかったという。午後8時56分に復旧した。
- 9月16日 日本時間午前5時33分ごろ、中国南部でマグニチュード6の地震が発生した。
- 9月16日 国際原子力機関が、2050年時点の世界の原発発電容量が、技術革新などが進む場合、2020年の実績からほぼ倍増して合計7億9200万キロワットになるとの見通し(予想)を発表した。上方修正は11年の東京電力福島第1原発事故後で初めて。IAEAは、上方修正について「気候変動対策への意識の高まりと、発電時の二酸化炭素排出量削減の重要性が反映された」と説明。各国が原発の意義を見直し、新設などを計画している結果と指摘した。
- 9月16日 18時42分ごろ、石川県能登地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.2と推定。石川県珠洲市で震度5弱、石川県能登町で震度4、新潟県長岡市、三条市、上越市、刈羽村、石川県輪島市、長野県小川村で震度3。
- 9月17日 日本時間午前2時51分ごろ、アラスカ半島沿岸でマグニチュード5.6の地震が発生した。
- 9月17日 鹿児島県十島村の諏訪之瀬島・御岳が16日午後8時14分と17日午前2時12分に噴火し、大きな噴石が火口から1キロ近くまで達した。気象庁は噴火警戒レベルを火口周辺規制の2から入山規制の3に引き上げた。
- 9月17日 12時16分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.4と推定。宮城県石巻市で震度3。
- 9月17日 原子力規制委員会が、島根原発2号機が再稼働に必要な審査に合格を示したことに對して、国が鳥取県の平井知事に対して政府の方針を示した。知事は「立地自治体(島根県・松江市)とちがって、周辺自治体は被害しかない。その辺の緊張感をもっていることを皆さん(国)は知るべきだと思う」と周辺自治体としての厳しい状況を訴えた。

- 9月17日 中国電力が、原子力規制委員会から借りた原発のテロ対策施設に関する機密文書を誤廃棄して約6年間報告しなかった問題など一連の不祥事について、丸山達也島根県知事が、「原発の安全への意識が低く緊張感、責任感が著しく不足していたのではないかと批判した。県議会で尾村利成県議(共産党)の一般質問に答えた。
- 9月17日 玄海原発に関する課題を整理してきた唐津市議会玄海原発対策特別委の小委員会が、報告書をまとめた。7項目のうち「安全協定」では、九電に対する事前了解権が市にはない状況を、市が解決すべき課題とすることを「市議会で初めて」全会派一致で認めた。
- 9月17日 北海道電力が、定期検査中の泊発電所2号機に設置している非常用ディーゼル発電機に不具合が見つかったと発表した。不具合は7日に発電機の起動試験を終えた後に、発電機に供給する空気を海水で冷やす空気冷却器で海水が漏洩しているのを社員がみつけた。原因は調査中。
- 9月17日 廃炉が決まった浜岡原発1・2号機の共用排気筒の解体工事が公開された。2036年度の完了を目指している。
- 9月18日 午前5時21分ごろ、宮城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。宮城県石巻市で震度3。
- 9月18日 四国電力が、午前0時過ぎから、伊方原発3号機のテロ対策施設の完成に向け、核燃料を原子炉に入れる作業を開始した。157体の核燃料を9月21日までに入れる予定。
- 9月18日 福島第一原発の汚染処理水を海洋放出するという政府決定を受け、宮城県庁で県内の漁業関係者などに対する説明会が開かれた。出席者からは改めて、海洋放出に反対する声があがった。
- 9月19日 日本時間午前5時47分ごろ、パプアニューギニアでマグニチュード5.6の地震が発生した。
- 9月19日 午前8時07分ごろ、茨城県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。福島県矢祭町、茨城県水戸市、日立市、常陸太田市、笠間市、常陸大宮市、筑西市、桜川市、城里町、東海村、大子町、栃木県市貝町で震度3。
- 9月19日 17時18分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。岐阜県高山市で震度4、長野県安曇野市、岐阜県飛騨市で震度3。
- 9月19日 19時04分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.6と推定。岐阜県高山市で震度3。

- 9月19日 東京電力が、福島第一原発の汚染処理水を海洋放出する政府決定に沿って、宮城県内の関係者向けの「風評対策」や賠償対応を一元的に担う「仙台事務所」を9月1日付で設置したことを明らかにした。
- 9月19日 福島第一原発の屋外に設置した仮設の集積場に置かれる廃炉作業で出た廃棄物が急増し、管理が不適切な場所もあるとして、原子力規制委員会が管理態勢の見直しを求めた。
- 9月20日 柏崎刈羽原発7号機施設内にある火災感知器の約100台が、新規規制基準で定めた適正な位置に取り付けられておらず、出火時に煙や熱をいち早く検知できず、対応が遅れる恐れがある。
- 9月20日 午後11時7分、伊方原発3号機の原子炉に核燃料を装填する作業が完了した。燃料装填はテロ対策施設の完成前検査を受けるのが目的で、今後原子力規制委員会が原子炉格納容器の気密性を検査する。四電によると、原子炉に装填した燃料集合体は新燃料41体、再使用燃料116体。新燃料には、プルサーマル発電で使用するプルトニウム・ウラン混合酸化物(MOX)燃料5体が含まれている。
- 9月21日 日本時間午前5時25分ごろ、クリル諸島の沖合でマグニチュード6.0の地震が発生した。
- 9月21日 鹿児島県の塩田知事が、川内原発の運転延長について話し合う県の専門委員会に原子力政策に批判的な学識経験者も加えるため、国や他の県の委員などから発言や研究内容を踏まえて検討を進めている。21日の県議会で、国や他県の委員会の委員の発言内容や研究内容を見ながら検討を進めていることを明らかにした。
- 9月22日 日本時間午前8時15分ごろ、オーストラリア南東部でマグニチュード5.8の地震が発生した。
- 9月22日 東京電力が、柏崎刈羽原発でテロ対策不備が相次いでいた問題で改善措置報告書を原子力規制委員会に提出した。柏崎刈羽原発では外部からの侵入を検知する設備が故障し、代替措置が不十分だった問題などが相次いで発覚。規制委が東電に対して事実上の運転禁止命令を下していた。東京電力は小早川社長の減給や、柏崎刈羽原発の石井所長の辞任などの処分を発表している。
- 9月22日 島根県議会が、島根原発2号機の再稼働について議論する島根原発対策特別委員会を設置した。
- 9月23日 日本時間午前2時01分ごろ、ロシアのザバイカリエ地方でマグニチュード5.5の地震が発生した。

- 9月24日 柏崎刈羽原発に出入りする協力会社が、2019年、原発構内や、構内の核物質防護上重要なエリアに車両で入るための通行証を紛失したり、誤って廃棄したりしていた。
- 9月24日 唐津市議会玄海原発対策特別委員会が九州電力を参考人招致し、玄海原発構内に設置予定の「乾式貯蔵施設」などについて説明を受けた。保管期間の質問に対して九電は、期間を明言せず、使用済み核燃料の搬出先になる青森県六ヶ所村の再処理工場の稼働に合わせ「計画的に搬出する」と述べた。
- 9月24日 18時48分ごろ、新潟県上中越沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。新潟県上越市で震度3。
- 9月25日 新潟県が、柏崎刈羽原発から30キロ圏内の住民に対し「安定ヨウ素剤」を事前に配布すると発表した。すでに、県は原発から5キロ圏内の住民を対象に事前に配布している。
- 9月25日 原子力規制庁が、機密文書の紛失など庁内で起きた事案の公表の在り方を改め、軽微なものを除き、発生後速やかに公開会合で報告することを決めた。
- 9月26日 日本時間午前7時21分ごろ、台湾東部でマグニチュード5.7の地震が発生した。
- 9月27日 日本時間午前8時12分ごろ、フィリピンのルソン島とミンダロ島の間にあるベルデ島水路でマグニチュード5.6の地震が発生した。
- 9月27日 日本時間15時17分ごろ、ギリシャ南部クレタ島でマグニチュード5.8の地震があった。
- 9月27日 韓国が、IAEA(国際原子力機関)の理事会で、次の議長国に選ばれた。議長国の任期は来年9月まで、核問題や原子力の平和利用などを話し合うIAEAの理事会などでの調整役を担う。
- 9月27日 20時26分ごろ、茨城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.7と推定。茨城県水戸市、日立市、高萩市、ひたちなか市、東海村で震度3。
- 9月28日 四国電力の伊方原発3号機で約140カ所の火災感知器が消防法施行規則で定められている適切な場所に設置されていなかった。
- 9月29日 福島第一原発事故で福島県から愛媛県に避難した住民らが、国と東電に損害賠償を求めた集団訴訟の控訴審判決で、高松高裁が一審松山地裁判決に続き国と東電双方の責任を認めた。同種訴訟の控訴審判決は今回が4件目。国の責任を認めたのは3件目。
- 9月29日 12時26分ごろ、茨城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。茨城県水戸市、土浦市、石岡市、笠間市、ひ

たちなか市、かすみがうら市、銚田市、小美玉市、城里町、東海村で震度3。

9月29日 原子力規制委員会の定例会合で、原発の高い放射性廃棄物についての処分場の規制基準を決めた。地下70メートルより深い場所に処分場を設けて約10万年間、地中で隔離する方針。汚染度の低い廃炉ごみの基準は既定されており、今回の決定により廃炉ごみの基準が全て整備されたことになる。

9月29日 浜岡原発1、2号機の、排気筒約100メートルの撤去するために解体作業で、20m以上の切断が完了。排気筒は35回に分けて徐々に切断され、来年2月に撤去が完了する見通し。

9月29日 原子力規制委員会の更田豊志委員長が、柏崎刈羽原発でテロ対策の不備が相次いだ問題について、東電に対する追加検査の期間を「大体1年前後だと思っている」との見通しを示した。

9月29日 17時37分ごろ、日本海中部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは6.1と推定。北海道幕別町、浦幌町、青森県階上町、岩手県普代村、福島県いわき市、広野町、茨城県日立市、埼玉県宮代町で震度3。

9月29日 国際協同組合同盟(ICA)水産委員会委員長のイム・ジュンテク韓国水産協同組合中央会長とブルーノ・ローランツICA事務局長が会談。日本政府の福島原発汚染水海洋放出問題や協同組合関連発展案などについて議論を行い、韓国側が日本原発汚染水への共同対応を要請した。

9月29日 23時39分ごろ、静岡県東部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。静岡県小山町で震度3。

9月30日 四国電力が、トラブルが続く伊方原発を再稼働させる日程について「変更の可能性はある」ことを明らかにした。

9月30日 17時45分ごろ、宮城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.6と推定。宮城県仙台市宮城野区、気仙沼市で震度3。

9月30日 東京電力が、福島第一原発の汚染水浄化設備の排気フィルター76か所のうち、32か所が破損していたと発表した。2年前にも同じフィルターの破損が判明したが原因調査をせず、公表もしていなかった。